

## 2000万人統一署名に列

### 憲法共同センター「9の日行動」新宿西口



戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター（憲法共同センター）が呼びかける「9の日行動」がこの日、全国各地で取り組まれました。

そのうち東京では今年最後の「9の日行動」を、戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす東京センターと共催して、JR新宿駅西口で行い、「戦争法廃止 2000万人統一署名」を呼びかけました。

行動には16団体から38人が参加、寄せられた署名は121人でした。同所では画期的な署名数となりました。

行動が始まると署名板を持っている人のところに次々と立ち止まり列をなして署名するという光景がいくつもできました。演説

を聞いている人、ちょっと考えている人にも声をかけると署名に応じてくれました。

9月19日の強行採決から3カ月近くがすぎっていますが、戦争法を廃案にとの思いは強くなっているのを感じさせる行動でした。

「2000万署名ですか？」と声をかけてきた女性と話していると「持って帰って周りにやってもらおう」と答えてくれ、70代の男性は「アパートで広める。用紙を預かる」と署名用紙2枚を持ち帰りました。また、旅行中の韓国女子大生3人は「『戦争法』聞いたことがある」と寄ってきて、戦争法の中身を説明すると「その通りだ」と署名に応じてくれました。

全労連・長尾ゆり副議長、全日本民医連・木下興事務局次長、自由法曹団・今村幸次郎幹事長、日本共産党・塩川鉄也衆院議員、東京憲法会議・斎藤純一事務局長、東京都教職員組合・大山圭湖副委員長、自由法曹団東京支部・萩尾健太事務局長がマイクを握り訴えました。



## 戦争法廃止2000万人統一署名行動次つき⑤

### 握手求め署名する人も レッドアクションで <山梨>

新日本婦人の会山梨県本部はJR甲府駅前でのほど「レッドアクション」を取り組み、2000万人署名を訴えました。この日の行動には20人が参加、寄せられた署名は62人分でした。一人で22人の署名を集めた人もいました。

「戦争は絶対困る。頑張る」と握手をもとめ、署名した小さな子ども連れのお母さん、「私は公明党だけど、戦争をすすめる安倍さんはだめだから協力させて」といいながら署名した女性もい

ました。

この日の「レッドアクション」は11回目の行動でした。

## 「署名を待っている人も」集会で決意新た <岐阜・中津川>

戦争法強行から2カ月、このほど「私たちはあきらめない。強行採決を忘れない」と80人余が参加して集会がおこなわれました。戦争はいやだ・中津川の会と女性は怒っているレッドアクションの2団体が主催しました。

主催者は「戦争法案反対の運動を5月10日から始め、21回の行動だった。強行されたのはショックだが、私たちは絶対あきらめない。運動を続けていこう」と力強くあいさつ。

リレートークでは次つぎと活動報告がされました。「4人で3時間かけ地域を軒並み訴えた。60軒を訪問、2000万人署名はちょうど100人分寄せられた。ダメだったのは4人だけ。なにより署名を待っている人もいて勇気づけられた」と70代の女性が発言しました。別な同年代の女性は「戦争法の強行にショックを受けていた知人が、多くの人たちが廃止の運動のために立ち上がっている姿を見て、また一緒に頑張ると声を寄せてくれた。安倍政権への怒りはいろいろな問題で生活の隅々に広がっている。2000万人署名をやりきりたい」と述べました。

## 日本共産党が各地で2000万人署名 目標は1000万人

日本共産党は、「戦争法（安保関連法）廃止の国民連合政府」を呼びかけ、その実現のために中央でも全国各地でも政党や団体、個人と懇談、意見交換などを精力的に行っています。同時に来年の参院選での野党共闘・選挙協力を成立させるためにも、また「戦争法廃止」を参院選の争点にするためにも国民・有権者の後押しが決定的に重要であるとして、「2000万人統一署名」に取り組み、目標を1000万人にさだめ運動を強めています。しんぶん赤旗から構成しました。

### 福井県委員会・北越地区委員会

県議や県委員会幹部らが参加してこのほど、福井市内で2000万人署名を呼びかけました。署名した女子高生は「戦争は私たちにかかわる問題、よく考えないと」と述べ、連れ添って署名した女子高生も「戦争では人が死ぬ。だから戦争法はやめてほしい」と語りながら署名しました。別な女子高生は「友達に戦争に行ってしまうのは怖い、私もいや」と署名。81歳の女性は「戦争のみじめな思いを知っている。自衛隊が『軍』になったら困る」と言いながら署名しました。

### 長野県 長水地区委員会

長野市とその周辺を守備範囲にする同地区委員会は、2000万人署名の目標を7万人とし、毎週日曜午後には定例宣伝を行うことにしています。

このほど取り組んだ宣伝では、署名用紙を広げた机にわき目もふらずまっすぐ向かってきて署名した女性をはじめ、年齢を問わず署名に応じました。通りかかった5人組の青年男女は呼びかけに答え署名、10代の2人連れは「殴り合いみたいにして決めた法律のことですね」「日本が戦争するようになるなんてしてほしくない」と言いながら署名しました。